

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

本校は、「郷土佐那河内に誇りをもち、自ら考え、表現し、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成」を学校教育目標としている。児童は、一体型の校舎で学ぶ中学生や隣接する保育所の園児と共に、豊かな自然環境の中でのびのびと学習に取り組んでいる。以下に、地域を知り、地域から学び、行動する力を育てていくことをねらいとした学年の取り組みについてまとめることとする。

《1年生》

児童がスムーズに学校生活に適応していけるように、保育所と連携し、スタートカリキュラムに取り組んでいる。

①じゃがいもほり（保育所年長組・1年生）：6月

- ・小学校入学前に保育所の園庭に種芋を植え、6月に園児と一緒に収穫した。久しぶりの保育所での活動に心を弾ませ、楽しく活動した。

②秋のフェスティバル（保育所年長組・1年生・2年生）：11月

- ・園児を招待して、お祭りを行った。児童は、園児に楽しんでもらえるよう工夫して、木の実のおもちゃや動くおもちゃの店を出し、協力しあって活動した。

③アートの日（保育所年長組・1年生）：12月

- ・県立美術館の先生方を講師として招いた。
- ・5～6人のグループを作り、1年生と園児が協力して「折り絵本」を制作した。



【アートの日】

④ネイチャーゲーム（保育所年長組・1年生）：1月

- ・環境首都とくしま創造センター（エコみらとくしま）のサポートを受け、徳島県環境アドバイザーの先生を講師として招いた。
- ・五感を使って活動するネイチャーゲーム（動物の仲間集めと木の実の仲間集め）を行い、自然とふれあうことの楽しさや大切さを感じることができた。

⑤体験入学（保育所年長組・1年生）：2月

- ・1年生が小学校の行事や校外活動の様子を紹介したり、歌や合奏、「折り絵本」の発表をしたりした。一緒にすごろくなどをして交流し、園児に4月の入学を楽しみにしていることを伝えることができた。

⑥保育所、小学校、中学校合同避難訓練：9月、1月

⑦1年担任による保育所への出前授業（保育所年長組）：3月

《2年生》

①「やさいをそだて、やさいパーティーをしよう」：5月、7月

- JAの方を講師として招いた。5月に土作りをして野菜の苗を植えた。7月に育てた野菜を使って野菜ピザを作り、パーティーをして楽しんだ。

②ふれあい昼食会：10月

村内の高齢者の方々と交流会をした。いつまでも元気で暮らしてほしいという願いを込めて、出し物を発表し、肩たたきや手作りしおりをプレゼントした。



【ふれあい昼食会】



【ネイチャーセンターで自然観察】

《3年生》

「ステキがいっぱい私たちの村」

- ①学校周辺の土地の使われ方や人々の生活など，地域の特徴を調べるため学校を中心として東西南北に分け，探検に行き，絵地図にまとめた。
- ②大川原高原，ネイチャーセンターの見学
 - ・大川原高原では，四国最大級の風力発電所ウインドファームを見学し，電力会社の方から風力発電について学んだ。電気の大切さに気づくことができた。
 - ・ネイチャーセンターでは館長さんから，センターの周辺にいる生き物について，また，昆虫の不思議について説明していただいた。
 - ・地域の学習を通して，自然の豊かさや文化や歴史を守るたくさんの人たちがいることに気づいた。
- ③「表現タイム」での発表
 - ・「ステキがいっぱい私たちの村」で学んだことを全校児童の前で発表した。
 - ・村の良さを守り，その良さを発信していきたいという思いを共有することができた。

《4年生》

「すべての人が安心してらせる村づくりをしよう」

- ①校内のユニバーサルデザインやバリアフリーについて調べ，エレベーター，多目的トイレ，点字ブロックなどを見つけた。
- ②装具をつけて高齢者疑似体験をし，高齢者の立場に立って考え行動することの大切さに気づくことができた
- ③特別養護老人ホームとの交流会（6月，11月，2月）
- ④「表現タイム」での発表
 - ・「すべての人が安心してらせる村づくりをしよう」で学んだことを全校児童の前で発表した。
 - ・地域の人々みんなが安心して暮らせる村にするために，自分たちにできることを考え発表した。

《4・5年生》

牟岐少年自然の家宿泊学習：6月

磯の生物観察やキャンドルのつどい、大島・出羽島めぐりを行った。海辺での活動を通して、自然を守るために人々が工夫し、様々な活動に取り組んでいることに気づくことができた。また、友達と学習・食事・入浴・就寝などを共にする中で、友情を深めることができた。

《5年生》

「佐那河内の『食』を学ぼう」

①稲作作り

- ・「佐那河内米」について知る。
- ・地域の方々の協力を得て、稲作作りをした。5月に田植えをし、10月に鎌を使っての稲刈りやはで干し、11月におはぎ作りをした。

②郷土料理「いりめし」作り：2月

- ・食生活改善推進協議会の方々を講師として招いた。郷土料理「いりめし」と、「豚汁」「ミルクもち」作りを教わった。
- ・食を通して地域の方々との出会いの機会を得ることができ、佐那河内の味を受け継いでいくことの大切さを学んだ。



【磯の生き物観察】



【稲刈り・はで干し】

《6年生》

児童会を中心に書き損じはがき集めを行った。1枚のはがきが誰かのために役立つ事を知り、ボランティアのきっかけ作りとなった。

《5・6年生》

「川遊びをしよう」：8月

- ・佐那河内村教育委員会の青少年健全育成事業の一環としての社会教育講座（川遊び体験）に参加した。村育推進協議会のサポートを受けた。
- ・園瀬川で自然体験学習を行い、郷土の自然の理解と愛着心の向上を図ること、また、環境指標生物調査等を実施し、園瀬川の環境の理解を深めることをねらいとしている。
- ・村内の園瀬川でカヌー体験、鮎漁体験、生き物観察、川遊び体験を行い、自然の豊かさと自然を守っていくことの大切さを体感することができた。



【川遊び】



【オリエンテーリング：安喜古墳】

《全学年》

オリエンテーリング：11月

1～6年生の縦割り班で、地域の自然や歴史に触れるコースを歩いた。保護者や地域の方々の協力を得て、神社の歴史を学んだり、校区に残る古墳を見学したりしながら、班で協力し合って活動することができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）